

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和 4 (2022)年度第 1 回みよし市地域包括ケア推進会議		
開催日時	令和 4 (2022)年 5 月 3 0 日 (月) 午後 1 時 3 0 分から 2 時 3 0 分まで		
開催場所	みよし市役所 3 階 3 0 1 会議室		
出席者	(出席者) 翠健一郎 宇田哲也 中島守男 川崎奈津 南波貴代 渡邊裕介 織田佳子 朝岡昌史 梅川小夜子 佐藤良仁 山下明美 鈴木裕一 棚澤愛子 近藤理恵 (みよし市民病院) 成瀬病院事業管理者 高橋総看護師長 加藤事務局長 山本リハビリテーション課長 【事務局】 (長寿介護課) 足立副主幹 (訪問看護ステーション) 深谷課長 近藤主任 七里主査 (保険年金課) 石田課長、大城副主幹 (健康推進課) 藤森課長、野々山保健師長、林副主任、川野歯科衛生士		
次回開催予定日	令和 4 (2022)年 8 月 2 9 日 (予定)		
問合せ先	福祉部 長寿介護課 担当者名 近藤、七里 電話番号 0 5 6 1 - 3 2 - 8 0 0 9 ファクシミリ番号 0 5 6 1 - 3 4 - 3 3 8 8 メールアドレス choju@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	別途議事録作成
審議経過	報告事項：保健事業と介護予防の一体的実施について 協議事項 1 認知症初期集中支援チームについて 2 在宅医療・介護連携対応施策作業部会について		

<会議録> 長寿介護課長	地域包括ケア推進会議に御参加いただき、ありがとうございます。コロナへの対応も変化してきているところではありますが、本会議につきましては、引き続きウェブ方式の開催としております。引続きたくさんの御意見をよろしくお願いします。
事務局	それでは担当で司会進行を進めて行きたいと思います。今年度も、近藤が担当させていただきます。 はじめに出席者の中で昨年度から今年度にかけて交代された出席者を紹介させていただきます。指名しますので、ミュートを解除していただき、自己紹介をお願いします。 名簿の順に紹介します。歯科衛生士会の代表の南波さん、お願いします。
南波氏	歯科衛生士会の代表として今年度から出席します南波と申します。昨年度までの竹下さんとも連絡をとれる間柄なので、わからないことを聞きながら、務めていきたいと思います。よろしくお願いします。
事務局	続きまして、障がい者相談支援専門員の渡邊さん、お願いします。
渡邊氏	わらびの渡邊です。よろしくお願いします。
事務局	続きまして、ケアマネの代表の織田さん、お願いします。
織田氏	れもんの花の織田と言います。今年度のケアマネージャー連絡会の会長を務めています。よろしくお願いします。
事務局	続きまして、第1層生活支援コーディネーターの佐藤さん、お願いします。
佐藤氏	社会福祉協議会の佐藤です。今年度、生活支援体制整備事業の第1層コーディネーターを担当します。昨年度は、なかよし地域包括支援センターにいました。よろしくお願いします。
事務局	最後に、今年度の4月から新たに設置しましたおかよし地域包括支援センターの管理者の山下さんです。よろしくお願いします。
山下氏	おかよし地域包括支援センターの山下です。初めてのことばかりですので、色々よろしくお願いします。

事務局	それでは次第に沿って進めます。 報告事項としまして、昨年度から新たに取組を開始しました保健事業と介護予防の一体的実施について、昨年度の報告と今年度の計画について報告していただきます。 保険年金課の大城副主幹、お願いします。
大城氏	保険年金課の大城です。資料２－１を御覧ください。令和３年度 of 取組の報告からさせていただきます。まずハイリスクアプローチですが、資料にありますように低栄養の人を抽出して、健康推進課の保健師と長寿介護課の保健師で家庭訪問等で１６人に指導を行いました。 続いて、ポピュレーションアプローチですが、みなよし地域の通いの場の協力を得て、１０月に１回、３月に１回、計２回健康推進課の保健師と管理栄養士による健康教育等を行いました。 事業を通じて、食生活の見直しのきっかけづくりができたと評価しています。 続きまして、今年度の取組案について説明させていただきます。今年度のハイリスクアプローチは、昨年度の低栄養の個別指導の継続と、新たに健康診断や医療機関を受診していない健康状態不明者を抽出して、健康状態を把握するためのアンケート調査を行うこととしています。 ポピュレーションアプローチにつきましては、今年度は４つの日常生活圏域で１つずつ通いの場を支援したいと考えています。体力測定が行えるように業者委託し、希望のある通いの場の参加者に体力測定を実施し、自身の身体を知る機会としていただき、さらに運動指導や栄養指導を行うことを計画しています。 以上が、説明となります。
事務局	今の説明に対して、質問等はございますか。
成瀬氏	市民病院の成瀬です。とても良い取組をされると思いますので、ぜひフレイルの状態が改善したかどうかを客観的に評価できるような仕組みを作っていただき、確実にフレイル予防に効果を得ているということを評価していただきたいと思います。
事務局	御意見ありがとうございます。未受診者に健診を受けていただき、その項目で評価する等が考えられるかと思いますが、一度検討します。その他はよろしいでしょうか。 それでは、次に移ります。

事務局	3の協議事項です。まず認知症施策、その次に医療と介護の連携についてを議題としていきます。ここからの取り回しは、七里が行います。 長寿介護課の七里です。まずは認知症施策からです。資料3を御覧ください。始めに、認知症施策検討作業部会から推進進捗管理表について、令和4年度活動の予定を報告します。 認知症サポーター養成講座は、昨年度同様、小学校8校の5年生と中学校4校のうち希望があった学校や地域住民、企業に対して講座を開催します。新型コロナウイルス感染症の影響で開催ができていなかった東海学園大学については、今年度、講座を開催する方向で調整しています。 認知症サポーター養成講座を行うキャラバンメイトについては、小学校や大人版の講座ができるキャラバンメイトを増やすため、メイトの活動実績を整理したり、昨年度、キャラバンメイト向けにアンケートを取った際、支援があれば活動ができると回答した人に対して、ヒアリングを行います。 アルツハイマー月間における普及啓発としては、昨年度同様みよし市立中央図書館で特集コーナーを設けます。昨年度は2週間の開催でしたが、今年度は1か月間の設営を予定しています。 チームオレンジ活動支援としては、令和3年度から三好丘緑行政区で開催していたステップアップ講座全12回が令和4年6月17日に終了となり、市内初のチームオレンジが誕生しました。今後も他地域に展開できるよう検討していきます。 認知症ケアパスの内容充実については、認知症介護家族交流会に参加されている人に現在の掲載内容を見ていただき、ヒアリングを行う予定にしています。 認知症初期集中支援チームについては、ケースの掘り起こしができるよう、市民に対して認知症相談窓口である地域包括支援センターの周知活動を行っていきます。 認知症カフェについては、新規利用者に対してアンケートを実施しているため、アンケートの分析や修正を行います。また、広報誌や図書館の特集コーナーを利用し、周知を図っていきます。 説明は以上になりますが、ここまでで何か質問等ありますか。ある人は、画面に見えるように挙手をお願いします。
翠氏	よろしいですか。みすクリニックの翠です。認知症初期集中支援チームの件で、お願いがあります。ここ3年くらいずっと言っていることですが、相談件数がほとんどない状態が続いています。認知症の患者は増えているし、家族を含めて困りごとが全くないなんてありえないと思います。それでも相談件数がないということをもう少ししっかり課題として認識していただき、どうしたら必要な人に支援を

事務局	行うことができるかを考えてください。いつも検討すると答えるばかりで、何も変わっていません。しっかりした対応をお願いします。 御意見ありがとうございます。統括保健師のいるみなよし包括と相談して対応を検討します。 続きまして、在宅医療・介護連携対応施策作業部会から推進進捗管理表について、令和４年度活動の予定を報告します。 日常の療養支援については、昨年度訪問できなかった市内の内科クリニックと昨年度に引き続き、調剤薬局を訪問させていただく予定としています。訪問する際は、事前にアポイントメントを取らせていただきますので、よろしくお願いします。 入退院支援については、メディカルソーシャルワーカー等入退院支援に関わる担当者と情報交換会を予定しています。方法や相手先については、作業部会で検討をしています。 急変時の対応については、消防との連携について、豊田市や豊田加茂医師会、東名古屋医師会、尾三消防の情報を収集していきます。 看取りについては、この後皆さまから意見をいただく予定になっておりますが、今年度みよし市版のエンディングノートを作成します。レイアウト等、引き続き検討しています。 昨年度同様に豊田市、豊田加茂医師会在宅相談ステーションと一緒に人生会議の普及啓発強化週間を設け、市民や専門職に普及啓発を図っていきます。今年度もみよし市中央図書館で特集コーナーを設ける予定になっています。 全てに関わることとして、在宅医療介護の統計については、第９期みよし市高齢者福祉計画兼介護保険事業計画の作成に移行します。 在宅相談ステーションとの関りについて、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネージャーを対象として、研修会が昨年度緊急事態宣言にて中止となりましたが、今年は１１月頃、開催を予定しています。 最後に、関係機関が抱える医介連携の課題抽出ですが、ヒアリング等の手法を用いて、情報を収集していきます。 ここまでで、質問等ございましたら画面に見えるように挙手をお願いします。 報告は以上となります。 続きまして、先ほど少しふれましたが、みよし市版エンディングノートについて、意見交換をさせていただきます。 平成３０年度に一度オリジナルの作成を試みており、その時に完成版としたものを本日の参考資料として、添付させていただいてお
-----	--

	ります。今回は、このエンディングノートをベースに加除しながら作成することを考えています。つきましては、皆様から加除が必要な内容について、それぞれの立場から意見をいただければと思っています。この点について、御意見いただける方は挙手をお願いします。 挙手して意見を言うのはなかなか難しいと思いますので、こちらから指名させていただきますので、それぞれの立場から御意見、御助言をお願いします。 初めに、歯科衛生士会の南波さん、お願いします。
南波氏	お話の前に1点確認させてください。エンディングノートはすでに配布していますか。どのような運用になっていますか。今年度から会議に加わったので、経緯を少し教えてください。
事務局	エンディングノートにつきましては、平成30年度にこの会議と作業部会でオリジナルの作成を試みています。当時の議論では最終的に完成版の案まで作成しましたが、同時期にあいおいニッセイ同和損保とみよし市との包括協定の中で、無償で提供いただけることがわかり、まずはその無償版を使って検証してみてもどうかということで、オリジナル版ではなく包括協定により提供を受けたものを配布しております。 しかし、そこから数年経過したこともあり、安定的に無償提供いただけない状況になってきたことと人生会議の普及をより推進するためにみよし市版としてオリジナルを作成する方が良いと判断し、今年度作成するものです。
南波氏	説明ありがとうございます。まず思ったのは、文字を大きくしないと特に高齢者には読めない人も出てきてしまうのではないかと思います。歯科衛生士の立場からすると、食べることを支援する立場なので、口から食べれなくなったときにどうするかを記入できる欄があると良いと思いました。
事務局	ありがとうございました。障がいの相談員の渡辺さんはいかがですか。
渡邊氏	本人の想いとか本人の望みを書くのが大前提ですが、例えば障がい分野だと支援者の視点の記載を文字に残すことがあります。生育歴とかも含めて、自ら考えを表出しにくい特性の人でも支援者が残しておくそれが手掛かりになることがあります。分量が多くなるのは良くないですが、例えばそのような視点もあっても良いのではないかと思います。

事務局	ありがとうございました。翠先生はいかがでしょう。
翠氏	認知症の人の想いを反映するのは難しいことですが、とても大事なことで、工夫していただきたいと思います。また一度記載したらそれがずっと残るというのもないので、どのタイミングで更新するのか、履歴をどう残すかというところが重要かと思います。
事務局	ありがとうございました。中島先生はいかがでしょう。
中島氏	翠先生もおっしゃっていましたが、書く時期によって想いは違うと思いますので、書いた日付を書く欄を設けたりすると良いと思います。また、本人が書くのか、介護者が書くのかもルールがあっても良いと思います。
事務局	ありがとうございました。宇田先生はいかがでしょう。
宇田氏	いろいろと書いた方が良いことを盛込むとボリュームが多くなってしまって、こんなに書きたくないとなってしまうといけいないので、ある程度内容を絞り込む必要はあると思います。お二人の先生もおっしゃっていましたが、いつ書くのかは重要で、書くときの想いをログとして残しておくことも重要だと思います。紙媒体が難しければオンラインによる電子媒体で残す方法も検討しても良いのかもしれませんが。
事務局	ありがとうございました。朝岡さんはいかがでしょう。
朝岡氏	私は特養の相談員として思うことですが、特養の入所者にエンディングノートを書いてくださいと言ってもほとんどのケースで難しいと思います。そうすると特養に入所されている人が書くことを想定すると家族が書くので、本人のみでなく家族が書くことも想定しておいた方が良いでしょう。
事務局	ありがとうございました。梅川さんはいかがでしょう。
梅川氏	私は、夫婦であいおいのものをもらって書いてみましたが、夫は全部書いていましたが、私はとても全部書ききれませんでした。それくらいボリュームが多くて書く気がなくなっていました。なので、ある程度の量にすることが良いと思います。 あと、私は私の母を看た経験から、医者から延命治療をするかと聞

	かれたときに、母はずっと延命はなくてよいと言っていましたがいざ、子として判断を迫られると母は望まないと言っていたけど、子としては延命してほしいとなってしまいます。エンディングノートに記載することは重要ですが、それを家族が利用するときにも難しさがあると思います。
事務局	社協の佐藤さんはいかがでしょう。
佐藤氏	社協の佐藤です。私も内容を少し絞り込んであまり量を多くしない方が良くと思います。
事務局	最後に市民病院の成瀬先生、御意見いただけないでしょうか。
成瀬氏	(電波状況が悪く音声なし)
事務局	電波が悪く音声聞こえません。作業部会に市民病院から連携室の職員が出ていますし、それらを通じて後日御意見いただけるように調整します。 みなさんからたくさんの意見をいただき、ありがとうございました。参考にさせていただき、作業部会で検討を進めます。 それではすべての議事が終了しましたが、全体を通して御意見等ある人はいらっしゃいますか。 無いようなので、第1回会議を終了したいと思います。ありがとうございました。